

研究員 の眼

売られだした？米国株式のアクティブ型 ～2023年1月の投信動向～

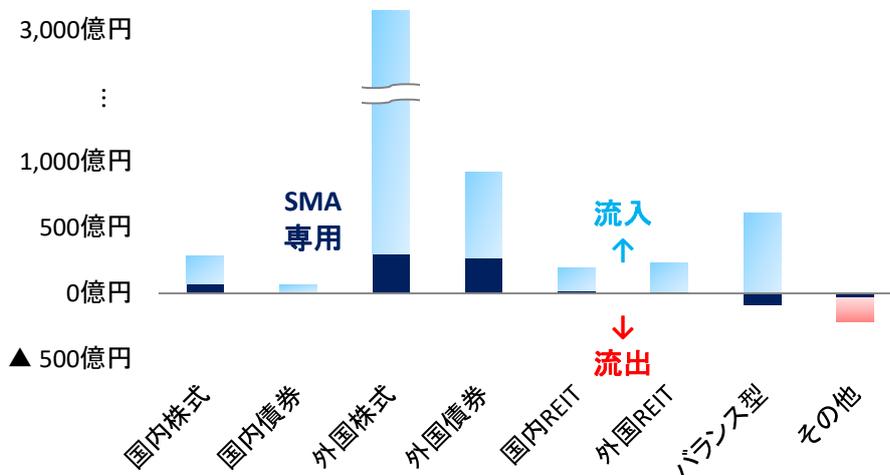
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

昨年12月から流入半減

2023年1月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流入をみると、主要な資産クラスを投資対象とするすべてのファンドに資金流入があった【図表1】。ただ、1月は国内債券と外国REIT以外の資産クラスのファンドへの資金流入が12月から鈍化した。そのため、ファンド全体でみると5,200億円の資金流入と12月の1兆300億円から半減した。なお、「その他」ファンドからの資金流出は、主に株式ブル・ベア型のファンドからであった。

1月も外国株式ファンドには3,100億円と相変わらず大規模な資金流入があったが、12月の4,300億円の資金流入から1,100億円減少した。外国株式ファンドの中では、アクティブ型に1月300億円の資金流入と12月の600億円から減少した。さらにインデックス型では1月2,900億円と12月の3,800億円から900億円も減少した。個別にみても、人気のインデックス型の外国株式ファンド（赤字）は軒並み流入額が1月に減少している【図表2】。

【図表1】2023年1月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流入



（資料）Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

【図表2】 2023年1月の推計純流入ランキング

ファンド名	運用会社	12月の推計 流入	1月の推計 純流入	純資産 1月末時点
1位 eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJ国際投信	849 億円	632 億円	17,058 億円
2位 eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJ国際投信	593 億円	429 億円	8,527 億円
3位 インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	269 億円	278 億円	2,988 億円
4位 SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	355 億円	260 億円	7,562 億円
5位 楽天・全米株式インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	293 億円	228 億円	7,642 億円
6位 みずほグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2023-01(限定追加型)	アセットマネジメントOne	---	151 億円	151 億円
7位 ビクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	ビクテ・ジャパン	147 億円	132 億円	1,152 億円
8位 債券パワード・インカムファンド(資産成長型)	SOMPOアセットマネジメント	99 億円	126 億円	421 億円
9位 ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	大和アセットマネジメント	117 億円	120 億円	6,892 億円
10位 ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	大和アセットマネジメント	104 億円	91 億円	4,133 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

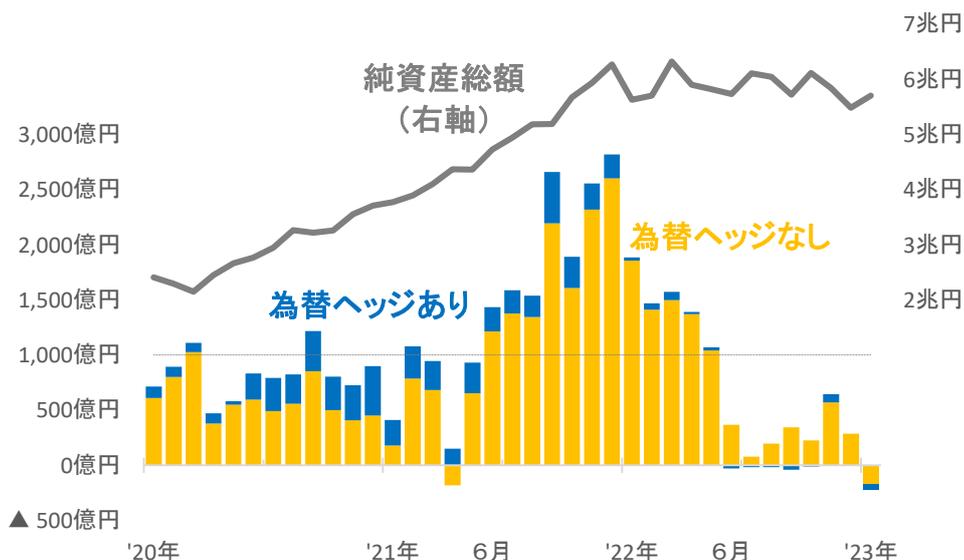
そもそも、昨年12月はつみたてNISAなどの駆け込み買付に加えて、多くの外国株式ファンドの基準価額が下落し、買付が入りやすい状況であった。12月にインデックス型の外国株式ファンドへの資金流入が過去最大を更新しており、1月に販売が鈍化したというよりも、むしろ12月に販売が好調過ぎたという方が適切だろう。1月でも資金流入が2,900億円もあり、インデックス型の外国株式ファンドの販売自体は2023年に入っても堅調であることに変わりはないとみられる。

アクティブ型の米国株式ファンドに売り

どちらかというインデックス型よりもアクティブ型の外国株式ファンドの販売動向の方が、流入額の減少こそ小さかったが気付きである。それはアクティブ型の米国株式ファンドが1月に2021年4月以来初めて資金流出に転じたためである。2023年に入ってからアクティブ型の米国株式ファンドの購入を見送る、もしくは見切りをつける投資家がより一層、増えているのかもしれない。

一般販売されているアクティブ型の米国株式ファンドの資金流入の推移をみると、2021年6月から為替ヘッジしていないもの(黄棒)を中心に毎月1,000億円を上回る資金流入が続いていた【図表3】。それが2022年6月以降は資金流入が鈍化し、為替ヘッジしているもの(青棒)は資金流出している月もあった。この1月は、ついに為替ヘッジしていないものも資金流出に転じた。

【図表3】 アクティブ型の米国株式ファンドの資金流入



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA・DC 専用ファンドは除く。2023年1月のみ推計値。

一般的にアクティブ型のファンドは2、3年で売却される傾向がみられる。2021年後半にアクティブ型の米国株式ファンドを購入した人がそろそろ売却を検討し始めてもおおしくない頃合いでもある。アクティブ型の米国株式ファンドは1月に米国株式の上昇に伴って売却が膨らみ資金流出となっただけかもしれないが、今後も資金流出が続く、さらには流出が加速する可能性もあると考えている。

他にも一部で変調をきたしている可能性も

外国債券ファンドと国内株式ファンドについても資金流入が大きく減少した。ただ、これらの2資産クラスについてもインデックス型の外国株式と同様に、外国債券は大型新設ファンド、国内株式は市場環境によって12月の資金流入が膨らんでいただけの面が大きい。

実際に外国債券ファンドは1月に900億円の資金流入と12月の1,700億円から減少したが、SMA専用ファンドと当月新設されたファンド以外の外国債券ファンドには1月に500億円の資金流入と12月の600億円からほぼ同規模であった。1月は既設の外国債券ファンドの販売はそれなりに堅調だった様子である。

また、国内株式ファンドも1月は300億円の資金流入と12月の2,300億円から2,000億円も大幅に減少した。12月は日経平均株価が一時2万8,000円台にあったのが月末に2万6,000円割れ目前になるなど月中に2,000円以上下落する中、インデックス型の国内株式ファンドを中心に資金流入が膨らんだ。それが1月は中旬以降、日経平均株価が2万7,000円台まで戻したため、インデックス型で資金流出に転じたこともあり、国内株式ファンド全体で見ると急減となった。

1月はその他にもバランス型ファンドと国内REITファンドの資金流入も減少額こそ小さいが12月から減少した。バランス型ファンドは1月に500億円の資金流入と12月の900億円から減少した。1月はSMA専用ファンドから資金流出していたものもあるが、それを考慮してもバランス型ファンドへの流入額は2022年5月以降で最小となった。また、国内REITファンドについても1月に200億円の資金流入と12月の400億円から半減し、2022年4月以降で最小となった。バランス型ファンド、国内REITファンドともに2022年、特に年後半は安定して資金流入があっただけに、2023年に入って変調をきたしているのかもしれない。

このように、1月の資金流入の減少はあくまでも12月に売れすぎている面が大きい。ただ、アクティブ型の外国株式ファンド、バランス型ファンド、国内REITファンドなどでは2023年に入って販売がふるわなくなってきた可能性もあり、今後の動向が注目される。

一部のテーマ型の外国株式ファンドが特に好調に

1月に高パフォーマンスであったファンドをみると、世界的に株価が上昇する中、一部のテーマ型の外国株式ファンドが特に好調であり、1月の収益率が20%、もしくは20%を超えるものがあった【図表4】。それら1月に特に好調だったファンドの過去1年の収益率をみると、この1月の高パフォーマンスが含まれているにもかかわらず、どのファンドも大幅なマイナスに沈んでいた。これらのファンドの2022年、正確には2月から12月のパフォーマンスがいかに厳しかったかが分かる。

【図表4】2023年1月の高パフォーマンス・ランキング

	ファンド名	運用会社	1月の 収益率	過去1年 収益率	純資産 1月末時点
1位	NASDAQ100トリプル(マルチアイ搭載)	大和アセットマネジメント	25.0%	-18.8%	23 億円
2位	グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)	日興アセットマネジメント	21.8%	-42.0%	74 億円
3位	グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり)	日興アセットマネジメント	21.7%	-42.0%	102 億円
4位	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント	20.9%	-31.1%	766 億円
5位	グローバル・フィンテック株式ファンド	日興アセットマネジメント	20.9%	-31.1%	992 億円
6位	みらいコネクトファンド	スカイオーシャン・アセットマネジメント	20.8%	-17.6%	109 億円
7位	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	日興アセットマネジメント	20.6%	-37.1%	1938 億円
8位	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	日興アセットマネジメント	20.6%	-36.0%	2860 億円
9位	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド(予想分配金提示型)	日興アセットマネジメント	20.3%	-36.2%	16 億円
10位	グローバル・エクスポネンシヤル・イノベーション・ファンド	日興アセットマネジメント	19.1%	-25.4%	2809 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2023年1月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したのですが、その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。